

森林インストラクター資格取得支援講座

「模擬試験」

2019年8月25日(日) 晴れ 八王子市 長池公園

森林インストラクター資格取得支援講座の8日目として「模擬試験」を八王子市の長池公園で実施しました。9/29の試験の一か月ほど前のこの時期に会員各自の到達レベルの自己確認と、初めて受験する会員に1日4科目の受験を体験して貰うことが目的です。本番の問題解答用紙の書式に合わせてFITの講師が作成した模擬試験問題を用いて、本番と同じ時間割で実施しました。

午前中は「林業」と「野外活動」です。林業は、日本の林家が抱える問題点の記述から、特用林産物の乾シイタケの旨味成分に関わる問題まで多分野にわたる11問でした。野外活動は、来年の東京オリンピックに絡んだ野外活動の推進に関わる記述から、ロープワークに関わる問題まで9問に回答しました。

午後は「森林」と「安全及び教育」です。森林は生態系に関する問題から、森林関連の法令まで広範囲の問題でした。安全及び教育は、来年真夏に開催される東京オリンピックの暑さ対策に絡んだ300字の記述式問題から、イベントの企画の立て方までの9問でした。



試験開始前：注意事項の説明

採点希望者の答案について運営スタッフが採点しました。採点を担当したスタッフから「設問の趣旨に沿って回答すること。記号を記入せよの設問に対して語句で回答した事例、作業内容と目的を答えよの設問に対して目的しか記述してない事例がありました」「時間切れのためか記述式問題が白紙の事例がありました、何か記述すれば部分点が貰えます」等のアドバイスを頂きました。



コブシの実

9月の試験まであと一か月。焦らず慌てず計画的に学習を続けて頂きたいと思います。3月末の「オリエンテーション」からスタートした「資格取得支援講座」はこれで終了です。会場の長池公園では、過ぎ行く夏を惜しむかのようにクマゼミの大合唱が聞こえます。「オリエンテーション」の時に花を観察した、キブシやコブシやオオバヤシャブシには沢山の果がついています。友の会の皆さんの努力が実を結び、一人でも多く合格することを期待します。

また講座の運営にご協力頂いたFITの皆様に感謝申し上げます。有難うございます。

参加者：氏家さん、久保さん、中林さん、福山さん、古谷さん、星野さん、三井さん、小河さん（一般）

スタッフ：横井さん、芝原さん

出題：関さん（林業）、田川さん（野外活動）、運営部会（森林）、槇田（安全及び教育）

（報告：FIT友の会運営部会 槇田幹夫）





最初の科目は「林業」



午後は「森林」〔後方は野外活動を採点中のスタッフ〕



キブシの雌花〔3月オリエンテーション〕



キブシの実〔8月模擬試験〕



色づき始めた実：ゴンズイ



沢山の青い実：イヌザンショウ